

2024年度 設計製図演習 I 評価ルーブリック

	項目	S 評価	A 評価	B 評価	C 評価
工作機械	様々な工作機械について説明できる。(10/100) (F.【コミュニケーション力】)	自ら調べた事項を含めながら、様々な工作機械について正確に説明できる。	説明は不十分であるが、自ら調べた事項を含めた様々な工作機械について説明ができる。	説明は不十分であるが、様々な工作機械についての説明できる。	講義における配付資料のみ用いての様々な工作機械の説明ができる。
JIS 規格の理解と製図演習	JIS に基づく標準製図法の投影法を理解し、第三角法に基づく図形の把握と作図をすることができる。(10/100) (F.【コミュニケーション力】)	JIS 規格に合致し、第三角法に基づいた三面図からの立体図の把握と、立体図からの三面図の作図が正確にできる。	線種選定の間違い等のわずかな JIS 規格の違反があるが、第三角法に基づいた三面図からの立体図の把握と、立体図からの三面図の作図ができる。	JIS 規格に合致しておらず、位置関係やサイズ感の間違ひがあるが、第三角法に基づいた三面図からの立体図の把握と、立体図からの三面図の作図がおおよそできる。	JIS 規格に基づいた作図や第三角法に関する課題を教員や TA の補助を受けながら、作成し、提出できる。
	標準製図法の寸法記入法に関する製図ができる (F)。 (20/100) (F.【コミュニケーション力】)	現物の実測による三面図の作製とその寸法の記入が、JIS 規格に合致して正確にできる。	JIS 規格に合致していない箇所がわずかにあるが、現物の実測による三面図の作製とその寸法の記入ができている。	JIS 規格に合致していない箇所は多くあるが、現物の実測による三面図の作製とその寸法の記入がおおよそできている。	JIS 規格による寸法記入ができていないが、現物の実測による三面図の作製ができている。
	標準製図法のサイズ公差、表面性状に関する説明ができる (F)。 (10/100) (F.【コミュニケーション力】)	サイズ公差に関する数値の算出が正確にでき、表面性状の説明もできる。	サイズ公差に関する数値の算出ができ、表面性状の説明もできる。	サイズ公差と表面性状の概要の説明が正確にできる。	不十分な点はあるが、サイズ公差と表面性状の概要の説明ができる。
最終課題	工学的知識に基づき、使用目的に合致した設計計算を行うことができる (H)。(10/100) (H.【未来志向力】)	工学的知識に基づき、使用目的に合致した設計計算を正確に行うことができる。	正確な値の算出ができていないが、工学的知識に基づき、使用目的に合致した設計計算を行っている。	工学的知識に基づき、使用目的に合致した設計の考えを示すことができる。	工学的知識に基づき、使用目的に合致した設計計算を説明することができる。
	設計計算に基づいた製図を行うことができる (F)。(40/100) (F.【コミュニケーション力】)	設計計算に基づいた製図を、JIS 規格に基づいて正確に行うことができる。	JIS 規格に合致していない箇所がわずかにあるが、設計計算に基づいた製図を、正確に行うことができる。	JIS 規格に合致していない箇所が複数にあるが、設計計算に基づいた製図を、正確に行うことができる。	教員や TA のサポートを受けながら、設計計算に基づいた製図を行うことができる。